

短大校舎における食堂・エントランスホールの中庭スペースデザイン提案

A2201120 高森祥子

■研究の概要 (背景)

短大校舎の食堂には中庭スペースがある。エントランスホールにある外につながる扉を使えば、食堂前中庭スペースに行くことができる。

食堂スペースを充実させてほしいという学生の要望が、学生アンケートでは多く寄せられている。

そこで、食堂前の中庭スペースにウッドデッキを制作、中庭スペースの有効活用を進め、かつ屋外での食事のスペース・くつろげる場を設けていく。ウッドデッキは食事、休憩などで自由に利用することができる。また、中庭にはきれいな芝生のスペースがあるが、あまり利用されていない。ウッドデッキを制作することにより、そちらへ誘導する狙いもある。

身近な部分を改善することは意義のある研究だと考え、卒業研究のテーマとして設定した。

■ウッドデッキの事例・研究

・ウッドデッキの事例



熊本県立大学



長崎大学



東邦大学



文教大学

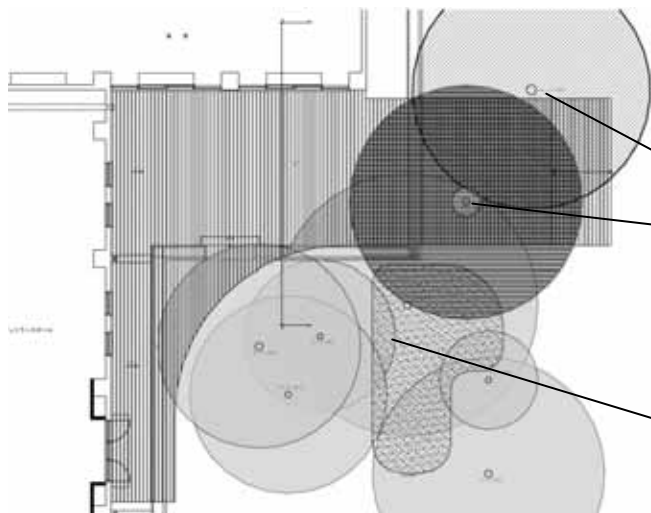
・中間領域について

中間領域とは、家の内部と外部を繋げてくれるような、内部とも外部ともいえない空間のことである。

日本の住宅に見られる縁側などがこれにあたる。季節や天候など、自然の変化を感じ取れる空間である。

■デザイン案の決定・植栽調査

ウッドデッキのデザインは以下のものに決定



ネムノキ



コブシ



カツラ

■作業工程

・下地の制作 (施工業者に依頼)



・根太の製作



・木材加工



・根太に防腐剤を塗る



・配水管の加工



・板を張っていく

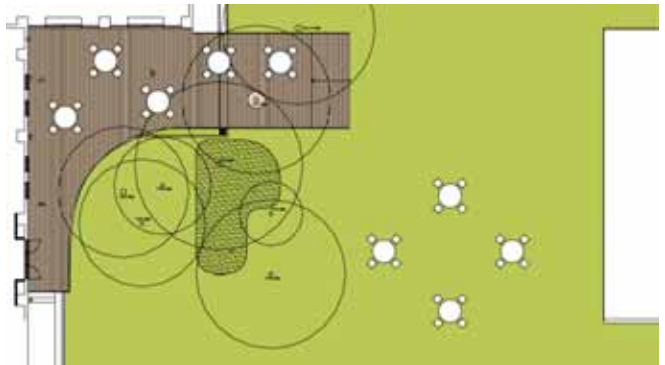


■最終的な完成イメージ

ウッドデッキはエントランスホールと食堂をつなぐ中間領域となる。

椅子やテーブルを配置する。食堂を利用する人たちが、外に出て食事・休憩などできるようにする。

ウッドデッキに階段を作り、芝生のスペースに降りられるようにする。芝生スペースにも椅子やテーブルを配置して、芝生スペースの利用を促す。



■考察

ウッドデッキを制作するにあたり、はじめは何も分からない状態だったが、先生や実習助手の方々の指導のおかげで制作を進めることができた。また、木材を扱うことにより、木という材料に触れることができた。

面積の広いウッドデッキを制作するのは大変だったが、制作する過程を一から学ぶことができた。